

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成22年1月7日 (2010.1.7)

【公表番号】特表2009-520026(P2009-520026A)

【公表日】平成21年5月21日 (2009.5.21)

【年通号数】公開・登録公報2009-020

【出願番号】特願2008-547270(P2008-547270)

【国際特許分類】

A 6 1 K 9/51 (2006.01)

A 6 1 K 47/34 (2006.01)

A 6 1 K 47/38 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 9/51

A 6 1 K 47/34

A 6 1 K 47/38

【手続補正書】

【提出日】平成21年11月12日 (2009.11.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

クロモニック構造を作製する方法であって：

(a) (i) 連続する水溶性ポリマー相と (i i) クロモニック材料を含む不連続クロモニック相とを含む第 1 の水性混合物を調製し、クロモニックナノ粒子を形成する工程；

(b) 得られたクロモニックナノ粒子を多価カチオン塩と非共有架橋する工程；

(c) 得られた架橋クロモニックナノ粒子を水溶性ポリマー相へ分散して、クロモニックナノ粒子分散液を形成する工程；及び

(d) (i) 前記クロモニックナノ粒子分散液と (i i) クロモニック材料を含む連続クロモニック相とを含む第 2 の水性混合物を調製する工程を含む前記方法。

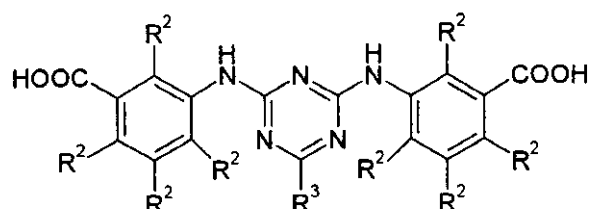
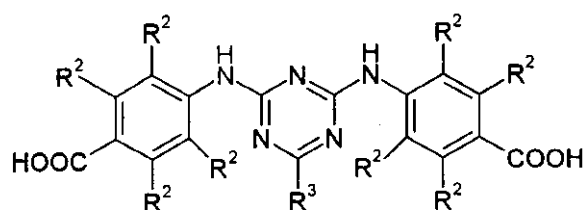
【請求項 2】

前記不連続クロモニック相又は前記連続クロモニック相が、ゲスト化合物をさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記第 1 の水性混合物のクロモニック材料及び前記第 2 の水性混合物のクロモニック材料が、次の一般式：

【化 1】



(式中、

各 R^2 は独立に、電子供与性基、電子求引性基、及び電子中性基から成る群から選択され、

R^3 は、置換及び非置換ヘテロ芳香族環並びに置換及び非置換複素環から成る群から選択され、前記環が R^3 の前記環内の窒素原子を通して前記トリアジン基と連結する)、並びにそれらの双性イオン、プロトン互変異性体及び塩類の1つ以上から独立に選択される、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

クロモニクナノ粒子を含有する水溶性ポリマードメインを含む連続クロモニク相を含む、クロモニク構造。

【請求項5】

前記水溶性ポリマードメインが、約500nm～約5mmの初期寸法を有する、請求項4に記載のクロモニク構造。

【請求項6】

前記クロモニクナノ粒子が、約300nm～約10μmの初期寸法を有する、請求項4に記載のクロモニク構造。